

「秩父川瀬祭の
川瀬と屋台の行事」が
県の無形民俗文化財に
指定されました！



毎年7月19日・20日に秩父神社を中心に行われる川瀬祭が、県の無形民俗文化財に指定されました。これで、市内の県指定の文化財は54件となりました。

名 称 程父川瀬祭の
種 別 無形民俗文化財

指定日	令和3年7月30日
所在地	秩父市
保存団体	川瀬祭保存会
公開期日	7月19日・20日

川瀬と屋台の行事

〈指定における評価について〉

「秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事」は、地域の災厄防除・悪霊退散を祈願する祇園系の夏祭りの系譜に連なる祓い行事の一つであり、民俗的要素を豊富に伝えている。

また、屋台囃子や笠鉾・屋台の囃子手と曳き子を子どもたちが中心となつて担つてている点も、祇園系の夏祭りの地域への定着を示すものとして特色がある。

地域の基盤的な生活文化の特色を示すもので典型的なものとして価値が高い。（埼玉県報道発表資料より）

※市HPで、文化財の情報を
見ることができます！



問 文化財保護課 22-12481



■笠鉾・屋台の曳行



■神興洗い



■お水取り行事

東京2020オリンピック競技大会は、日本選手が歴代最多の金メダルを獲得する活躍を見せ、8月8日に閉幕しました。ホストタウンである秩父市では、7月18日～23日までの6日間、「秩父滝沢サイクルパーク」において、BMXレーシング競技に出場したコロンビア共和国の選手3人（マリアナ・パホン選手（写真中央）、カルロス・ラミレス選手（写真右）、ヴィンセント・ペルアル選手（写真左））が事前キャンプを実施しました。

事前キャンプ中は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、直接の交流はできませんでし

たが、7月22日には、観覧人数を制限して公開練習が行われました。開練習が行われたコースを豪快にジャンプする姿や、一流のテクニックを目撃した観客が上がつていました。

7月30日に行われたシングル決勝では、女子の部でマリアナ・パホン選手が、前々回のロンドン五輪、前回のリオ五輪の金メダルに次ぐ銀メダルを獲得しました。同じく男子の部でカルロス・ラミレス選手が、前回のリオ五輪の銅メダルに続き、今回も銅メダルを獲得しました。ヴィンセント・ペルアル選手は、10位でした。おめでとうございます！

祝
コロジビックでメダル獲得！